

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ～ニ）を読んで、文中の空欄（A～T）に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ）日本最古の貨幣は、長らく708年に発行された（ A ）とされていたが、それとは別に（ B ）という古い貨幣が存在したことが、江戸時代の文献に記されていた。1990年代に鑄造工房が発見され、『（ C ）』の記述と相まって、それが（ A ）よりも古い貨幣である可能性が高まった。しかし、（ B ）が実際に流通していたか否かについては意見が分かれており、（ A ）も流通貨幣ではあったが、通用範囲は都周辺など限定的であった。（ A ）に始まる皇朝十二銭の最後が10世紀半ばの（ D ）で、これをもって朝廷による貨幣発行は途絶えてしまう。そして、12世紀以降、大陸から輸入された（ E ）銭によって、初めて全国的な貨幣流通が確立することになる。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|-----|-----|
| 1 延喜通宝 | 2 乾元大宝 | 3 続日本紀 | 4 清 | 5 宋 |
| 6 和同開珎 | 7 日本書紀 | 8 富本銭 | 9 明 | |

（ロ）15世紀末から16世紀にかけて、悪銭を嫌い良銭を選好する（ F ）が広がり、輸入銭の流通は混乱した。17世紀に入ると、江戸幕府の下で日本独自の貨幣が発行され、いわゆる三貨制度が整えられた。これは、秤量貨幣の（ G ）と計数貨幣の（ H ）ならびに銭貨という3系列の貨幣を併用する複雑な制度であった。しかし（ I ）政権下で、（ H ）の単位を表記した計数（ G ）が初めて発行されると、その後急速に流通量を増し、幕末までに三貨がほとんどすべて計数貨幣に収斂していった。なお、紙幣に関しても、地域限定的なものではあるが、（ J ）や私札などの流通が近世段階で確立している。

- | | | | | |
|--------|--------|------|------|-------|
| 1 井伊直弼 | 2 金貨 | 3 銀貨 | 4 撰銭 | 5 撰銭令 |
| 6 松平定信 | 7 水野忠邦 | 8 藩札 | 9 割符 | |

（ハ）1871年、明治政府は（ K ）を制定し、円・銭・厘を単位とする単一の系列の貨幣制度へと移行した。従来の1両は1円とされ、またそれぞれの単位の関係は（ L ）銭＝1円、10厘＝1銭であった。この頃、財政難から太政官札・民部省札などの（ M ）紙幣が乱発され、通貨の安定が損なわれていたので、1872年、アメリカの制度にならって（ N ）を定め、（ O ）銀行券の発行を促そうとした。しかし、発券銀行の経営難から1876年に（ O ）義務を取り除いたため、銀行券が（ M ）紙幣化し、さらに翌年に起こった西南戦争の戦費調達のため、（ M ）紙幣が増発されたことから、激しいインフレーションが起きてしまった。

- | | | | | |
|---------|-------|------|----------|------|
| 1 新貨条例 | 2 貨幣法 | 3 兌換 | 4 国立銀行条例 | 5 不換 |
| 6 日本銀行法 | 7 両替 | 8 10 | 9 100 | |

(二) 1880年代前半の緊縮財政と紙幣整理を経て、ようやく(P)が確立され、さらに1897年には松方正義(Q)の下で、日清戦争の賠償金を準備金として(R)に移行した。第一次世界大戦中の1917年に(S)が禁止された後、1930年に至って(R)に復帰したが、その結果として日本は世界恐慌の直撃を被り、深刻な恐慌状態となった。そこで1931年には再び(S)が禁止され、(R)に代えて(T)が採用されることになった。

- | | | | | |
|--------|--------|----------|----------|--------|
| 1 総理大臣 | 2 大蔵大臣 | 3 管理通貨制度 | 4 金輸出 | 5 金本位制 |
| 6 大蔵卿 | 7 銀本位制 | 8 金輸入 | 9 金銀複本位制 | |

Ⅱ 次の文章(イ～ニ)を読んで、文中の空欄(A ～ T)に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1 ～ 9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄(解答用紙の右上)に記入しなさい。

(イ) 江戸幕府第5代将軍の徳川綱吉は儒教を重んじ、湯島聖堂を建てて(A)を大学頭に任じた。綱吉は仏教にも帰依して生類憐みの令を出す。彼の死後、第6代将軍の(B)により廃止され、新井白石らが政治の刷新を図った。綱吉期の朝幕関係は(C)などの朝儀の復興や約1万石の(D)の進献に見られるように融和的であったが、白石もまた朝廷とのつながりを強化し、東山天皇の皇子を立てて(E)を創設した。

- | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1 祇園会 | 2 徳川家継 | 3 林鶯峰 | 4 禁裏御料 | 5 徳川家宣 |
| 6 林信篤 | 7 輪王寺宮 | 8 俸禄米 | 9 大嘗祭 | |

(ロ) 長崎貿易では17世紀末以降、(F)に代わり(G)が清への主な輸出品となり、蝦夷地以外でもその生産が進められた。貿易を支える国内産業の発達著しく、様々な物資を遠隔地へ輸送する海上交通も整備された。大坂から江戸へ至る航路である(H)には(I)が運航し、いわゆる下り物が江戸の人々に消費された。江戸と大坂、そして(J)は三都と総称され、幕府の政治的・経済的拠点となった。三都には多くの書肆も創業し、学問・芸術の発展を担った。

- | | | | | |
|------|-------|-------|--------|------|
| 1 京都 | 2 南海路 | 3 銅 | 4 北前船 | 5 俵物 |
| 6 鉄 | 7 駿府 | 8 東海道 | 9 菱垣廻船 | |

(ハ) 元禄期からの古典研究は、国学の興隆へとつながった。(K) の門人である賀茂真淵は『(L)』を著して儒仏を排した日本固有の道を論じ、その教えを受けた本居宣長は『(M)』を著して日本古来の精神への回帰を主張した。続いて平田篤胤は、(N) と呼ばれる神道説を大成した。一方、塙保己一は(O) を設立して『群書類従』の編纂に従事した。こうした国学の興隆は、幕末期の政治運動にも影響を与えることとなった。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|------|
| 1 復古神道 | 2 国意考 | 3 荷田春満 | 4 垂加神道 | 5 契沖 |
| 6 本朝通鑑 | 7 蕃書調所 | 8 古事記伝 | 9 和学講談所 | |

(ニ) 18世紀後半に入ると、農村では貨幣経済の浸透によって自給自足的な生活が変容し、田畑を集積して村役人をも務めた(P) と、村の大半を占める小百姓との間で対立が深刻化した。そして村役人らの不正を追及する小百姓の運動である(Q) が各地で発生した。また、凶作や飢饉を背景として、領主に対する要求を掲げた百姓一揆が増加し、都市部では有力商人の家屋・家財を標的とする(R) が起こった。これら有力商人の中には、農村部での商品生産に着目し、百姓に原料などを供給することで(S) と称する生産形態を組織する者もいた。一方、畿内では19世紀になると、領主や特権商人に対する大規模な合法的訴願運動である(T) も見られた。

- | | | | | |
|--------|---------|--------|----------|-----------|
| 1 全藩一揆 | 2 打ちこわし | 3 出頭人 | 4 村方騒動 | 5 問屋制家内工業 |
| 6 国訴 | 7 豪農 | 8 質地騒動 | 9 農村家内工業 | |

Ⅲ 次の文章の空欄(A ～ F) に当てはまる語句を記しなさい。

(A) 宣言の受諾による日本の敗戦によって、日本の領土は北海道・本州・四国・九州とその周囲の諸島に制限されることになったが、戦後アメリカが施政権を持った(B) については1953年に、(C) については1968年に、沖縄諸島については(D) 年に、それぞれ返還が実現した。その一方で、ロシアとの間には歯舞群島・色丹島・国後島・(E) のいわゆる北方四島を巡る領土問題が、戦後65年以上経った現在も未解決のまま残されており、(F) や尖閣諸島についても、それぞれ韓国・中国との間で議論となっている。

(イ) 玉だすき ^{うねび} 畝^{かしはら}傍^あの山の 榎^あ原の 聖の御代ゆ 生れましし 神のことごと つがの木の いや
継ぎ継ぎに 天の下 知らしめししを 天にみつ 大和を置きて …… いかさまに 思ほしめせか
天離る ^{ひな} 鄙^{さざなみ}にはあれど 石走る 近江の国の 柴浪の (A)の宮に 天の下 知らしめし
けむ …… ももしきの 大宮所 見れば悲しも

(ハ) やすみしし わご大君 高照らす 日の皇子……埴安の 堤の上に あり立たし 見したまへば
大和の 青香具山は 日の経の ^{なて} 大き御門に 春山と しみさび立てり 畝傍の この瑞山は
日の緯の ^{よこ} 大き御門に 瑞山と 山さびいます (B) の 青菅山は ^{そとも} 背面の 大き御門に
^{よろ} 宜しなへ 神さび立てり 名ぐはしき 吉野の山は ^{かげとも} 影面の 大き御門ゆ 雲居にそ 遠くあり
ける 高知るや 天の御陰 天知るや 日の御陰 水こそば 常にあらめ 御井の清水

(原万葉仮名)

- 問1 (A) の中にふさわしい語句を記しなさい。
- 問2 (A) の宮で即位した天皇名を記しなさい。
- 問3 (A) の宮が廃絶に至った契機となった出来事とは何か、記しなさい。
- 問4 下線a「大君」は、問2の天皇の弟にあたる人物である。誰のことか、天皇名を記しなさい。
- 問5 下線b「都」の具体的な名称を記しなさい。
- 問6 (B) の中に入る大和三山の一つの名称を記しなさい。
- 問7 (ハ)の歌に歌われた都の名称を明記し、その全体プランと性格について、「大極殿・朝堂院」「集住」「象徴」の3つの語句をこの順番ですべて用いて、80字以内で説明しなさい。
- 問8 (C) の中にふさわしい、聖武天皇が新規に造営した都の名称を記しなさい。
- 問9 聖武天皇が(C)に遷都する直接的原因となった出来事とは何か、記しなさい。

[illegible]

V 次の史料（イ～ハ）は、江戸幕府が発布した法令を年代順に配列したものである。これを読んで、設問に答えなさい。

（イ） 近年金銀出入段々多く成り、評定所寄合の節も此の儀を専ら取り扱ひ、公事訴訟ハ末に罷り成り、評定の本旨を失ひ候。借金銀・買懸り等の儀ハ、人々（ A ）の上の事ニ候得ば、今よりは三奉行所にて済口の取り扱ひ致す間敷候。併しながら、欲心を以て事を巧み候出入ハ、不届を糺明いたし、御仕置申し付くべく候事。

（ロ） 惣じて 借シ金銀・売掛ケ等の儀、（ A ）せしめ候上の事ニ候得ば、今よりハ右の出入奉行所にて取り扱ひこれ無き筈ニ候。然し乍ら欲心ヲ以て事を巧み候出入ハ不届の訳糾明の上、御仕置申し付くべく候間、訴へ出づべく候事。

（ハ） 金銀出入の儀、奉行所に於て取り上げざる段、去ル亥年相触れ候得ども、近来金銀通用相滞り候由相聞こえ候に付、当酉〔年〕正月よりの借金銀・買掛り等出入の儀、前々の如く取上げ裁許仕るべき旨、三奉行え仰せ出され候間、其の意を得られ、よりより相達せらるべく候。

（原文を一部修正）

（注） 金銀出入：金銀貸借に関する訴訟。^{かねくじ}金公事。 公事訴訟：金公事を除いた民事訴訟。
買懸り・買掛り：掛け（つけ）払いで買うこと。 済口：解決すること。

問1 史料（イ）～（ハ）が発布された時の将軍は誰か、氏名を記しなさい。

問2 問1の将軍の時代、商工業の統制を目的として、幕府は同業者組織を広く公認し、営業の独占権を認めるようになった。こうした同業者組織を何というか、記しなさい。

問3 問1の将軍の時代、年貢増徴を目的として、幕府は商業資本による開発事業を奨励したが、こうして開発された耕地は何と呼ばれるか、その名称を漢字6文字で記しなさい。

問4 空欄（ A ）にふさわしい語を漢字2文字で記しなさい。

問5 下線aにつき、金銀を借りた人々として、この法令の中で想定されているのは主にどのような人々か、記しなさい。

問6 下線b「去ル亥年」は史料（イ）が発布された年を指すが、これを西暦で記しなさい。

問7 史料（イ）の法令の趣旨とその推移を、史料（ロ）・（ハ）を踏まえたうえで、次の3つの語を用いて、120字以内でまとめなさい。ただし、語順はかえてもよい。

借金 訴訟 物価